

展示

3がつ11にちをわすれないためにセンター(わすれん!)のプロジェクトの一部を紹介します。

3/7(木)~3/11(月) 時間 10:00-18:00 会場 1F オープンスクエア
 3/13(水)~4/21(日) 時間 9:00-22:00 会場 7F ラウンジ

●わすれん!企画のプロジェクト

インタビューシート -あなたの体験を教えてください-

来館者が綴る、一人ひとりの震災体験談

2023年3月より、さまざまな問いから震災を振り返るインタビューシートを館内に設置し、来館者一人ひとりの震災体験をアーカイブしてきました。これまでに集まった150以上のシートを展示しつつ、新たな体験談も募集します。あなた個人の体験を書いて教えてください。



3月12日はじまりのごはん -いつ、どこで、なに食べた?-



食から思い出す震災の記憶

毎年恒例、3.11オモイデアーカイブとわすれん!による協働企画。時間が経ち、徐々に語られにくくなった震災について、当時の「食」にまつわる写真をきっかけに、来場者が思い出した当時の体験や思い、そしてそれに関するコメントなどを自由にふせんに書いていく参加型の試みです。

わすれん!録音小屋

ふたりで震災の対話を残すプロジェクト

ふたりひと組で小部屋に入り、震災にまつわる話を録音する「わすれん!録音小屋」。これまでに録音された音声の一部を紹介します。

(録音小屋のご利用は予約不要、2階の映像音響ライブラリーカウンターにて常時受付)



宮城県沿岸部の定点観測写真



定点で見るまちの変化

震災後から撮影を続けてきた定点観測写真。宮城県沿岸部の気仙沼、石巻、女川、名取、仙台にて、2023年も撮影を行いました。区画整理やかさ上げ工事による風景の変化など、継続的な撮影によって浮かび上がる、12年にわたるまちの記録を展示します。

■市民によるプロジェクト

ARAHAMA Living History

HOPE FOR project



元荒浜住民へのインタビュー集

震災当時荒浜で暮らしていた・働いていた7名のインタビューを、映像とテキストで展示します。あの日から何が楽しくて、嬉しくて、悲しくて、辛かったのか。そして、いま伝えたい思いとは。現在は震災遺構となった荒浜小学校を拠点に活動する「HOPE FOR project」が掲げ上げてきた、声なき声の記録です。

映像に触れて、言葉を紡ぐ

お茶の水女子大学の学生有志、丹羽朋子(にわともこ) Dialogue / Research / Trip

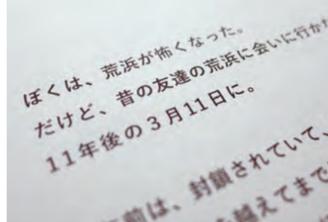
「正解のなさ」と向き合った、大学生の対話の記録

震災後に市民が撮影した「わすれん!」の記録映像を、当時子どもだった大学生30人が観て対話しました。「弔う」とは? 「震災の当事者」とは? なぜそこに住み続けるのか? 映像を見て感じたことを伝え合い、他者と共に言葉を見つけてつなぐ試みから、「継承」のヒントを探ります。



続・参佰拾壹歩の道奥経

宙崎抽太郎(ちゅうさき ちゅうたろう)



失いつつある故郷像をつなぎとめるための試み

仙台出身・東京在住で、故郷から離れて暮らしてきた宙崎さんが「故郷像の喪失に対する再接続の試み」として記録した映像シリーズ「参佰拾壹歩の道奥経」。2015年-2023年にかけて制作されたそれらの作品を振り返りつつ、制作の動機や故郷への思いを綴った文章をまとめて展示します。

普通という風景

高橋親夫(たかはし ちかお)

2011年2月、沿岸部の風景と日記

長年地域の写真を撮影し続けている仙台在住の高橋親夫さんが、震災の前月の2011年2月、宮城県の沿岸部を歩いて撮影した冬の写真と、当時の日記を展示します。2011年2月、あなたは何をしていましたか? 震災前の日常に少しでも思いを馳せる、そんな場になればと思います。



3.11 あのとときのホント

橋本武美(はしもと たけみ)



今だから言える・聞ける障害児の親の声

自閉症の子を持つ親である橋本武美さんは、震災時に経験した障害児者の家族の困りごとを記録に残し今後に活かしたいという思いから、昨年、似た立場にある親たちへ会って当時の体験の聞き取りを始めました。これまで表に出てこなかったそれらの声の一部をまとめ、展示します。

「東北と復興」を考える

自由の森学園高校 選択授業「東北と復興」メンバー

高校生が見て聞いて考えた、東北の復興のいま

埼玉の自由の森学園高校で実施している選択授業「東北と復興」のメンバーが、1年間の授業の中で学び考えたことをまとめて展示します。高校生が東北の地を訪れ、見て聞いて考えたことの記録です。

イベント

誰でも参加できる対話の場をひらきます。話を聞きに来るだけでもOK。お気軽にご来場ください。

会場 1F オープンスクエア 入場無料/申込不要 直接会場へ

3/9(土) てつがくカフェ 第92回

テーマ「忘れ去られそうな「震災」のことをひろいあげる」

時間 14:00-16:30

2月1日から3月11日のあいだ、せんだいメディアテーク1Fに「モヤモヤボード」を設置し、東日本大震災と福島第一原発の事故についてうまく言葉にならない漠然とした「モヤモヤ」をみなさんから集めます。まとまらないままであっても、言葉にして一旦身体の外に出してみることで、少し距離を取って出来事と向き合えるかもしれません。今回のてつがくカフェでは「モヤモヤボード」に寄せられた「小さなつばやき」と向き合うことから対話を始めます。是非、ご参加ください。



てつがくカフェとは? 「てつがくカフェ」は、わたしたちが普段当たり前だと思っている事柄から、いったん身を引き離し、「そもそも何なのか」といった問いを投げかけます。そして他者との対話をおして、自分自身の考えを直すことの難しさや楽しさを体験するものです。



主催:てつがくカフェ@せんだい、せんだいメディアテーク

3/10(日) ギャラリートーク「それぞれの記録のかたち」

時間 11:00-12:30

「わすれん!」には、震災後からさまざまな立場の市民が参加し、日々震災にまつわる記録活動をしています。今回は、本展で紹介している3名をゲストに迎えてトークを行います。

「普通という風景」の高橋さんは、震災前から地域の写真を撮影し続けています。一方で「3.11あのときのホント」の橋本さんは、昨年からレコーダーを持って取材を始めました。『「東北と復興」を考える』に参加する佐野友紀さんは、一昨年に高校の授業で石巻を訪れたことをきっかけに、復興について自分事として考え始めました。記録を始めた時期やその方法、立場や住む場所も異なる3名が、それぞれにどのような思いで活動しているのか、展示解説を交えつつお話を伺います。

聞き手には、SARP仙台アーティストランプレイスの運営に携わり、隣接する喫茶frameを運営しているほんだあいさんにお越しいただきます。

ゲスト

高橋親夫(たかはし ちかお)
橋本武美(はしもと たけみ)
佐野友紀(さの ゆうき/自由の森学園)

聞き手

ほんだあい(喫茶frame)

2F「わすれん!資料室」へもお立ち寄りください



わすれん!資料室入り口

メディアテーク2Fには、わすれん!の資料を閲覧できる常設展示「わすれん!資料室」があります。資料を詰め込んだ屋台のような「アーカイヴィークル」、「わすれん!録音小屋」のほか、各地の定点観測写真や震災体験手記など、これまでに寄せられたさまざまな記録資料の一部をご覧いただけます。

資料室の開館日は、映像音響ライブラリーと同じです。平日は9時30分から20時まで、土日祝日は18時まで。休館日は月曜日、祝日の翌日、第4木曜日。

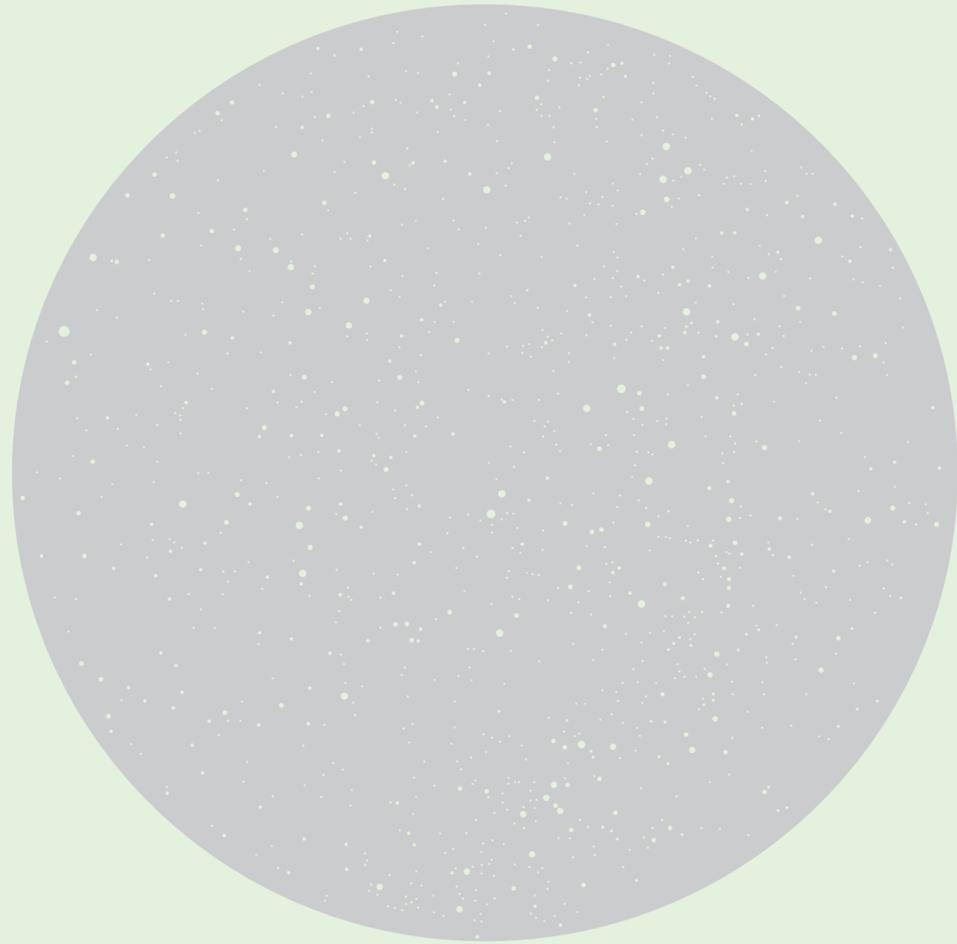
フロア別で見るとスケジュール▶



アーカイヴィークル

わすれん!録音小屋

7F	smt 展示	3/13	3/28はお休み	4/21
2F	わすれん!資料室(常設展示)			
	イベント	3/9 3/10		
1F	展示	3/7	3/11	



あの日の星空と、 そこから歩んできた13年を振り返る

せんだいメディアテークは2011年5月3日、東日本大震災という大きな出来事に向き合い、ともに考えるために、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」(略称:わすれん!)を開設しました。

「わすれん!」には、市民、専門家、アーティストなどさまざまな立場の人びとが参加し、ともに震災にまつわる事柄を記録し、発信しています。

「星空と路」は、センターの参加者による記録を紹介する展示やイベント、そしてこれまでに寄せられた記録の利活用の試みの場として、毎年3月に開催しています。個々のまなざしがとらえた記録を通して、これまでの道のりとこれからの歩みを考える時間を過ごすことができると思います。



3がつ11にちをわすれないためにセンター

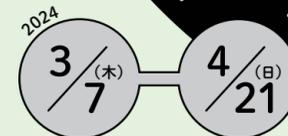
せんだいメディアテークが、市民、専門家、アーティストと協働し、震災とその復旧・復興のプロセスを独自に記録・発信していくため、2011年5月3日に始めたプラットフォームです。参加者は、個人個人が体験した震災を映像、写真、音声、テキストで記録します。それらの記録は、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として整理・保存され、さまざまな形で利活用されています。



主催・問い合わせ
せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
3がつ11にちをわすれないためにセンター
〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1
tel:022-713-4483 fax:022-713-4482
mail:office@smt.city.sendai.jp web:https://recorder311.smt.jp/

*この紙はリサイクルできます。

3がつ11にちを
わすれないために



入場無料/申込不要
会場:せんだいメディアテーク
※3月12日(火)、28日(木)はお休み

